

## 9. 5大がん治療前ステージ別件数(UICC)

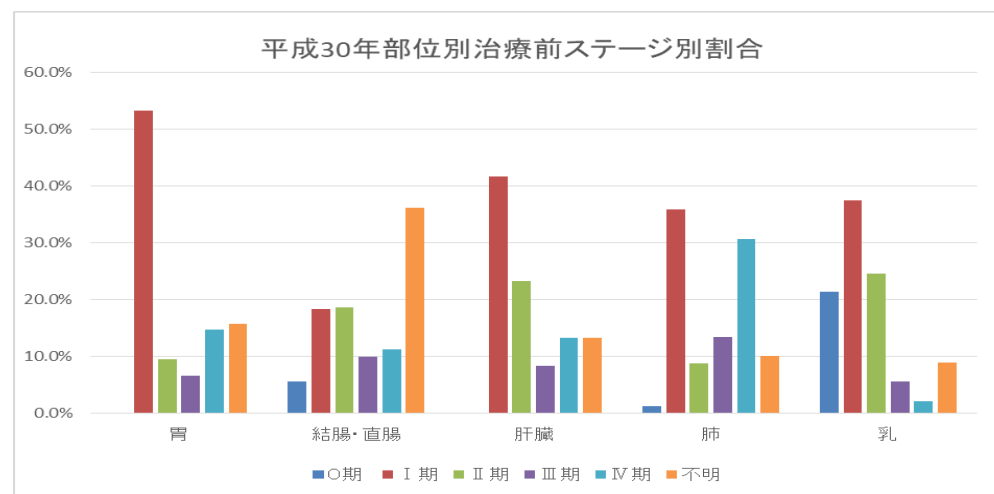
部位	2016(平成28)年							2017(平成29)年							2018(平成30)年						
	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
胃	0	103	20	12	38	30	203	0	122	19	22	27	41	231	0	112	20	14	31	33	210
結腸・直腸	24	50	67	41	52	106	340	22	73	50	43	39	138	365	20	65	66	35	40	128	354
肝臓	0	20	17	7	13	9	66	0	24	10	11	11	19	75	0	25	14	5	8	8	60
肺	0	108	18	48	86	36	296	1	114	16	46	95	38	310	4	118	29	44	101	33	329
乳	166	336	231	58	31	66	888	196	306	251	46	35	75	909	173	304	199	45	17	72	810
合計	190	617	353	166	220	247	1,793	219	639	346	168	207	311	1,890	197	624	328	143	197	274	1763

当院は平成19年1月31日より地域がん診療連携拠点病院に指定され、国が定めた項目を定められたルールに沿って院内がん登録を行い国立がんセンターへ届出しています。上記指標は、院内がん登録全国集計届出データより抽出した平成28年～平成30年診断症例の5大がん治療前ステージ(治療開始前のがんの進行度・拡がり)別件数です。どのような状態の患者様が受診されているかを示しています。O期に近いほど腫瘍が小さくとどまっている状態(早期がん)で、IV期に近いほど腫瘍が広がっている状態(進行がん)です。不明には、他の病院で治療終了後当院へ転院した症例や、十分な情報が得られずステージが決められなかった症例を含みます。DPCデータに基づく指標「初発の5大癌のUICC病期分類」とは対象期間や登録ルールに違いがあるため、異なったデータとなります。

下記指標は平成30年症例の5大がんにおけるステージ別の割合を示したものです。

平成30年症例部位別治療前ステージ別割合

部位	O期	I期	II期	III期	IV期	不明	構成比率
胃	0.0%	53.3%	9.5%	6.7%	14.8%	15.7%	11.9%
結腸・直腸	5.6%	18.4%	18.6%	9.9%	11.3%	36.2%	20.1%
肝臓	0.0%	41.7%	23.3%	8.3%	13.3%	13.3%	3.4%
肺	1.2%	35.9%	8.8%	13.4%	30.7%	10.0%	18.7%
乳	21.4%	37.5%	24.6%	5.6%	2.1%	8.9%	45.9%



## 9. 5大がん初回治療件数

・本題で集計した「初回治療」とは当該癌種に対して初回に計画された治療のうち、当院で実施されたものと定義します（再発がんに対する治療は含みません）。

他の病院で初回治療が開始され、当院で継続した場合も当院で実施した治療内容を集計します。

数字は手術、内視鏡、薬物治療、放射線治療、その他の治療の件数およびその組み合わせの件数を示しています。（ただし、診断日から5ヶ月以降行われたものは含みません。）

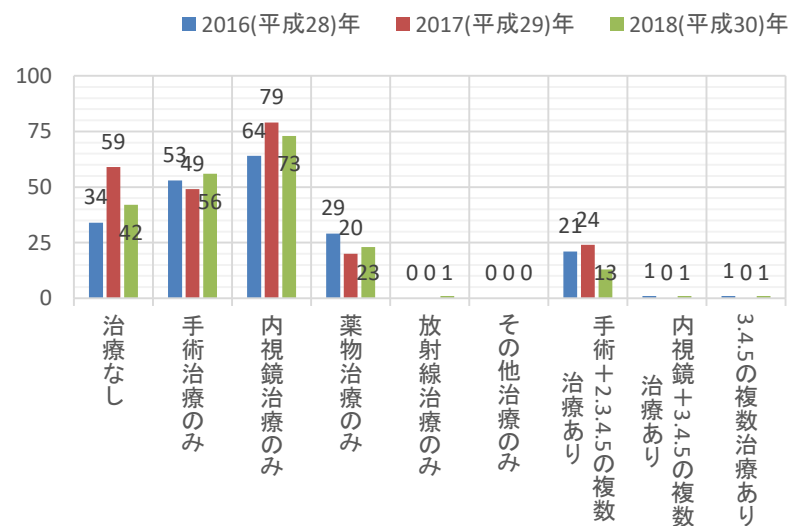
- ・ 0 治療なしは当院で診断のみを行った場合やご年齢や諸事情により積極的な治療を行わない場合、又は他の病院で初回治療が終了し、当院で経過観察している場合や再発治療の目的で当院を受診した場合を含みます。
- ・ 1 手術は肉眼的視野下で行われる外科的手術（開腹術等）と自然開口部以外から挿入された光学機器による視野を用いた鏡視下手術（腹腔鏡・胸腔鏡下手術）を含みます。
- ・ 2 内視鏡は自然開口部（口腔・肛門等）より挿入された光学機器による視野を用いて腫瘍の切除が行われる治療です。
- ・ 3 薬物治療には化学療法や内分泌（ホルモン）療法を含みます。
- ・ 5 その他の治療には免疫療法や肝臓がんの血管塞栓術やラジオ波焼灼術等を含みます。

### 胃癌初回治療件数

区分	治療内容	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
0	治療なし	34	59	42
1	手術治療のみ	53	49	56
2	内視鏡治療のみ	64	79	73
3	薬物治療のみ	29	20	23
4	放射線治療のみ	0	0	1
5	その他治療のみ	0	0	0
6	手術+2.3.4.5の複数治療あり	21	24	13
7	内視鏡+3.4.5の複数治療あり	1	0	1
8	3.4.5の複数治療あり	1	0	1
	合計	203	231	210

- ・手術治療では腹腔鏡下手術が多く行われています。
- ・部位別治療前ステージ別件数で示す様に、早期癌（ステージⅠ期）の割合が高く、その場合、多くの症例で内視鏡治療のみで治療が終了しています。

### 胃癌初回治療件数



## 大腸癌初回治療件数

区分	治療内容	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
0	治療なし	82	70	84
1	手術治療のみ	95	82	99
2	内視鏡治療のみ	79	116	99
3	薬物治療のみ	14	18	15
4	放射線治療のみ	4	0	0
5	その他治療のみ	0	0	0
6	手術+2.3.4.5の複数治療あり	66	74	56
7	内視鏡+3.4.5の複数治療あり	0	1	0
8	3.4.5の複数治療あり	0	4	1
	合計	340	365	354

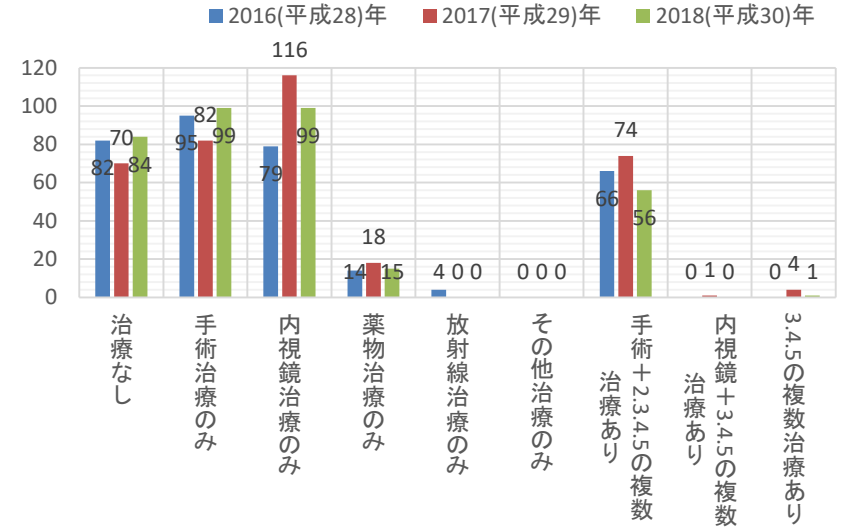
- ・他の病院で初回治療終了後に当院を受診される患者様が多いため、治療なしの件数が増えています。
- ・手術治療では腹腔鏡下手術が多く行われています。
- ・早期癌(ステージⅠ期)は、多くの症例で内視鏡治療のみで治療が終了しています。

## 肝臓癌初回治療件数

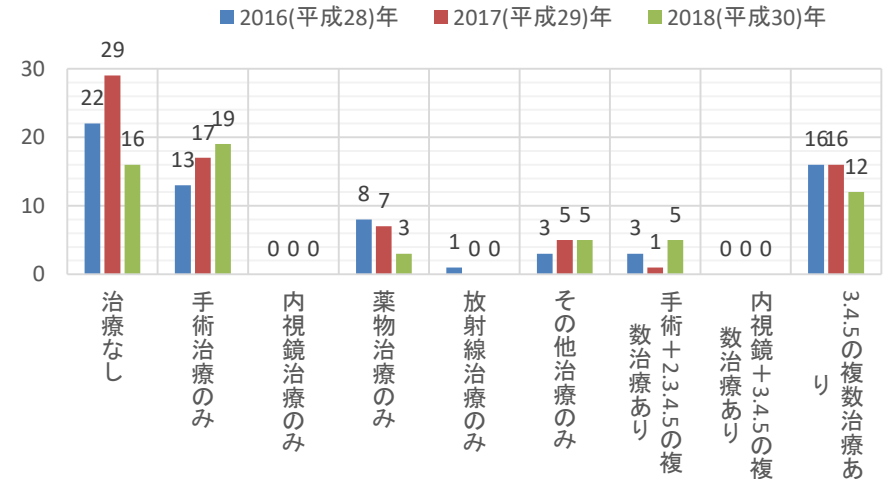
区分	治療内容	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
0	治療なし	22	29	16
1	手術治療のみ	13	17	19
2	内視鏡治療のみ	0	0	0
3	薬物治療のみ	8	7	3
4	放射線治療のみ	1	0	0
5	その他治療のみ	3	5	5
6	手術+2.3.4.5の複数治療あり	3	1	5
7	内視鏡+3.4.5の複数治療あり	0	0	0
8	3.4.5の複数治療あり	16	16	12
	合計	66	75	60

- ・肝臓の治療では手術以外に化学療法と肝動脈塞栓療法を併用した治療も多く用いられています。

## 大腸癌初回治療件数



## 肝臓癌初回治療件数

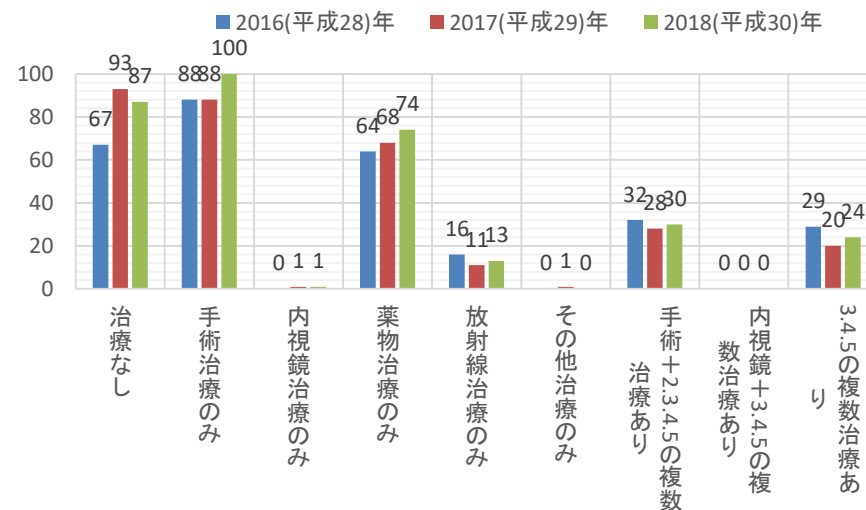


## 肺癌初回治療件数

区分	治療内容	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
0	治療なし	67	93	87
1	手術治療のみ	88	88	100
2	内視鏡治療のみ	0	1	1
3	薬物治療のみ	64	68	74
4	放射線治療のみ	16	11	13
5	その他治療のみ	0	1	0
6	手術+2.3.4.5の複数治療あり	32	28	30
7	内視鏡+3.4.5の複数治療あり	0	0	0
8	3.4.5の複数治療あり	29	20	24
	合計	296	310	329

- ・手術治療では胸腔鏡下手術が多く行われています。
- ・部位別治療前ステージ別件数で示す様に、他の癌と比べてステージⅢ期・Ⅳ期の患者様の割合が高く、他の癌に比べて薬物治療が多く行われています。

## 肺癌初回治療件数



## 乳癌初回治療件数

区分	治療内容	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
0	治療なし	64	89	83
1	手術治療のみ	197	243	218
2	内視鏡治療のみ	0	0	0
3	薬物治療のみ	51	139	41
4	放射線治療のみ	54	49	37
5	その他治療のみ	0	0	0
6	手術+2.3.4.5の複数治療あり	522	387	429
7	内視鏡+3.4.5の複数治療あり	0	0	0
8	3.4.5の複数治療あり	0	2	2
	合計	888	909	810

- ・当院のがん登録件数は神奈川県内で上位となっています。
- ・特に乳癌の件数は県内最多となっています。
- ・区分 4.放射線治療のみの件数は、他の病院で初回治療を開始し、放射線治療を行う目的で当院を受診される患者様が多いことを示しています。

## 乳癌初回治療件数

